

# 三沢市地域公共交通会議 会議録

会議名称	平成27年度 第3回会議					
開催日時	平成28年1月14日(木) 14時00分～15時30分					
場 所	三沢市役所 本館4階 大会議室					
出席者	会 長	小渡 章好	委 員	浪岡 貞蔵	委 員	丹藤 正人
	委 員	目時 晃	委 員	向中野 貢	委 員	大澤 裕彦
	委 員	山本 優	委 員	高橋 常幸	監 事	芋田 勝則
	監 事	坂本 幸子				
	事務局	三沢市：山本課長、岡部課長補佐、岩織係長、川嶋主事、 株式会社ケー・シー・エス：金丸、岡田、長瀬				
会議次第	1 開 会 2 会長挨拶 3 議 事 (報告事項) (1) 地域公共交通調査事業の進捗状況について ①各種調査結果についての報告 (協議事項) (1) 三沢市地域公共交通網形成計画(素案)について ①地域公共交通網形成計画の内容について ②パブリックコメントの実施について 4 閉 会					
会議の経過及び審議結果(概要)						
1 開会  2 会長挨拶 会長挨拶後、新委員の芋田委員より挨拶があった。  3 議事 (報告事項) (1) 地域公共交通調査事業の進捗状況について 事務局から報告資料1を説明  <主な意見> 特になし  ※前回会議の報告事項 「ぐるっとバス」について、山本委員から参考資料を説明  <主な意見> (小渡会長) ・今年利用者数が減少した原因は何か。 (山本委員) ・現在、分析はまだ出来ていない。						

(協議事項)

(1) 三沢市地域公共交通網形成計画(素案)について

事務局から三沢市地域公共交通網形成計画(素案)を説明

<主な意見>

(日時委員)

- ・P97 目標⑦内のバス停オーナー制度の金額はどの程度かお聞きしたい。

(事務局)

- ・実際どのような形でできるか次年度検討、検証した上で金額を提示したい。富士宮市では高額なものもあるようだが、三沢市ではオーナーが手を挙げやすい金額で、登録件数を増やすことを前提として進める。

(向中野委員)

- ・交通拠点での乗り継ぎについて、利用者からすると、高齢者などは荷物を持っているため不便すぎるのではないか。

(事務局)

- ・現実的に乗り継ぎが可能かの検討を含め計画に盛り込みたいと考えている。現時点での計画では、乗り継ぎが生じる便は日中の利用者が少ない時間帯限定としている。基本的には路線バスを利用してもらいが、乗り継ぎが出来ない日中の時間帯をタクシーで補い、少ない利用者の足を確保したい考えである。

(小渡会長)

- ・利用状況、時間帯ごとの利用特性など路線によって異なる性格がある。それぞれの特性に応じて考えていかなければならない。今後現実的に可能なものか検討願いたい。

(日時委員)

- ・P47 高校生へのインタビュー調査結果の中で、自宅からバス停までが遠いとの記載があった。こういった人達の利便性をいかに図るかが公共交通は非常に大事。他市では自宅からバス停まで乗合タクシーのような形で運行している所もある。色々な形で交通弱者の足を守り、その中で公共交通の役割を果たして欲しいと思うが、どのような取り組みを考えているかお聞きしたい。

(事務局)

- ・市内においては、バス停から 500m圏外に住まわれている方は少なく、ほとんどの市民にはバスサービスが提供されている状況である。但し、古間木 4 丁目方面のようにバスが通っていない箇所も一部あるため、次年度以降既存路線を迂回するのか、他の代替手段で対応するのかなど、対応を検討していきたい。

(小渡会長)

- ・P47 高校生へのインタビュー調査結果の公共交通利用促進に対する意見で、「学校だけではなく、スーパーや公共施設にも時刻表があるといい」という意見があるが、すぐに対応できるのではないか。

(事務局)

- ・既に設置して広報している。

(大澤委員)

- ・誰の目にも留まるような掲示方法の工夫を検討していく事が必要だろう。スーパー等へも掲示場所等の協力をお願いしてはどうか。

(小渡会長)

- ・ソフト面においては重要なことである。こういった声があることをスーパー等へ伝え、逐次改善を重ねていくことも可能である。アンケートで得られた全ての意見について応えるのは難しいが、応えられるものには応えていきたい。

(坂本委員)

- ・計画に理解を得られない市民に対して、どのように説明していくのかは、会議として考えておかなければいけない。ただ、市民も積極的に勉強していかなければいけない。最近の世間の風潮として、公共交通に限らず行政は市民の意見に対して全てクリアしなければならないという錯覚が過大になりすぎているように感じる。
- ・横浜では観光スポット周遊バス『あかいくつ』が走っており、大人 100 円、小児 50 円で利用者も多い。車両も乗ってみたいくなるようなバスであった。大型車両でなくとも、三沢を PR できるようなバスが出来れば良い。

(小渡会長)

- ・他都市に行った際など、施設側としては案内表示をしているつもりでも、利用者から見ると探しにくいということは結構ある。多様な人が利用する施設等へは積極的に改善提案し、本市が施設側も利用者側も双方がお互いに良い状況を作っていくまちなると良い。外国人に対しても同様である。サインの先進都市を目指すには費用の額ではなく費用の使い方が重要になる。公共交通でサインの取り組みを見える化するのも良い。三沢市の来訪者が、知りたい情報にスムーズにアクセスできるよう工夫することで好印象度も高まる。

(大澤委員)

- ・平成 26 年度に観光施設の場所やアクセス手段を提供するスマホアプリを開発した。英語版は平成 27 年度末に完成予定である。積極的な周知を図りたい。

(事務局)

- ・現在、英語版のみ一ぱす時刻表を作成中である。完成後は基地内に配布する予定にしている。

(小渡会長)

- ・大小様々な課題があるが、各施策に優先順位をつけて実施していきたい。
- ・本日は素案について委員より了承をいただいた。意見があれば事務局へ連絡してほしい。

## ②パブリックコメントの実施について

(事務局)

- ・本日協議頂いた内容を踏まえ、素案を修正し、2 月中にパブリックコメントを実施し、市民からの意見を募集する。その結果を踏まえ、3 月中旬に開催予定の第 4 回会議に最終案を諮りたい。

4 閉 会

以上